

科目責任者 矢久保 修嗣（臨床漢方研究室）

## ■ 教育目的

安全な検体採取および感染予防の手技・器具について理解する。

## ■ 学習到達目標

安全な検体採取（血液・鼻腔・咽喉）の手技を身につける。

手指衛生を通じ感染予防について理解する。

## ■ 準備学習（予習・復習）

予習：教科書等で実習内容の概要を把握しておく。

復習：実習内容をよく整理し見直して、疑問点を残さないようにしておく。

## ■ 授業内容

No.	項目	授業内容	SBOコード
1	標準採血法と検体の取り扱い	採血器具の種類と特徴 標準採血法 検体の取り扱いと保存法	
2	鼻腔・咽喉からの検体採取と検査	鼻腔ぬぐい液・咽喉ぬぐい液の採取 簡易キットでの検査	
3	手指衛生と標準予防策	手指衛生 感染予防具の使用法	

## ■ 授業分担者

柿木孝志、斎坂ゆかり

## ■ 課題（レポート、試験等）のフィードバック及び成績評価方法

質問などは、随時受け付ける。

出席状況（60％）およびレポート等（40％）にもとづいて総合的に評価する。

## ■ 教科書

「最新 臨床検査学講座 医療安全管理学」 諏訪部 章・高木 康・松本 哲哉 編 （医歯薬出版）

## ■ 参考書

「JAMT 技術教本シリーズ 検体採取者のためのハンドブック」 一般社団法人 日本臨床衛生検査学会 監修 （じほう）